

## 合同教育研究会議（12月8日開催）議事概要

### 1 開催日時

令和3年12月8日 13時00分～14時30分

### 2 場所

本部棟3階 特別会議室

### 3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、  
宮野副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、  
劉高等教育推進センター国際教育研究部長、福島看護学部長、  
高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、  
川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、  
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）  
欠席：長谷川委員（学外委員：製品評価技術基盤機構理事長）

#### [事務局]

鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、  
北島企画室長、高橋宮古事務局長、西川総務財務課長、八木主幹、鈴木主幹、渡部主査

### 4 会議の概要

#### 議事録確認

前回会議11月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

#### 協議事項

#### (1) 教学 IR 推進体制の構築について

委員から、センター長はどのような人を想定しているのかとの発言があり、これに対し石堂副学長から、検討中であるが、教育支援本部長又は教学の副学長を想定しているとの発言があった。

また、委員から、専任スタッフは社会調査の経験がある人材かとの発言があった。これに対し石堂副学長から、「専門職」とまで限定はしないが、データ分析のノウハウがある人、例えばソフトウェア情報学部の大学院の卒業生を期限付きで任用する、ということもありうる、令和4年度に教学 IR を稼働させてみて、正規のスタッフにするか、フルタイムか等を検討予定である、との発言があった。

学長から、IR には課題があり、例えばファクトブックを作るなどの業務があるが、作ったものを何に使うのか等、方針を明確にする必要がある、また、学修成果の可視化については公表を求められる段階にきていること、さらに、教職員の作業量が増えることになるので、例えば評価に関する資料を教学 IR に組み込んで、認証評価に活用するなど、有効に利用することを検討しながら進めていくことをお願いしたい、との発言があった。

これに関連して石堂副学長から、名称は「教学」IR だが、様々な評価も視野に入れているため、評価を所管する企画本部と一緒に進められればと思っている、との発言があった。

#### (2) 第6次岩手県立大学情報システム整備計画の策定体制等について

委員から、第6次岩手県立大学情報システム整備計画策定委員会の委員の選出は各学部か

ら1名必須という理解で良いか、との発言があり、これに対し橋本企画本部長から、各学部から1名はお願いしたい、また、適任者がいるようなら2名でも良いとの発言があった。

学長から、サイネットの見直しとはどのようなことかとの発言があった。これに対し、橋本企画本部長から、サイネットは海外との接続に適したものであり、活用し切れていない側面を見直して行く趣旨であり、利用自体をやめるつもりはないとの発言があった。

### (3) 岩手県立大学内部質保証方針の制定について

委員から、図3(資料P.22)に教学IRは今後含まれてくるのか、との発言があり、これに対し橋本企画本部長から、令和4年度以降この図の書き換え等を大学評価委員会等で検討する予定であるとの発言があった。

また、委員から、図3に関連して、4大と短大は分けて記載した方が良いとの発言があった。

学長から、学内のDX化を進めたいと考えており、教学IRの学部情報システムサーバ(資料P.5)があるが、図1～3にこれに加え、各学部がデータを入れるようなことを検討してほしい、との発言があった。これに対し橋本企画本部長から、運用として十分対応できると思う、との発言があった。

## 報告事項(口頭報告)

### (1) 教職課程認定(中高 数学)について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。

### (2) 令和3年度岩手県立大学の就職内定状況(11月末現在)について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

### (3) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」改正に伴う不正防止計画の一部改正等について

狩野研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

### (4) 令和4年度計画の作成について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、マネジメントシステムは学部の要望が反映されるのか、との発言があり、橋本企画本部長から、同システムは第四期中期計画に合わせて改修があるので、検討していくとの発言があった。

### (5) 令和3年度「卒業年次生アンケート」の実施について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、アンケートの媒体が紙よりWebの方が回答率が低いのは何故か、との発言があり、橋本企画本部長から、Webの場合、「回答しなくても良い」という考えになり易い傾向があるのでは、Webで十分な回答率が得られるような工夫を検討する、という方向もあるが、今年度は紙での実施とする旨の発言があった。

### (6) 学部長等の選考手続きについて

石堂副学長から、資料に基づき説明があった。

委員から、資料によると学科長の選考は副本部長の選考が終わってからということだが、副本部長の選考の目途はいつ頃等分かるのか、学部で学科長の候補をある程度決めて置く段取りはどのようにすれば良いか、との発言があった。

これに対し、宮野副学長から、学科長の選考については、まず学部長の内示が済んだタイミングで学科長の選考に入ることになっているが、実際は、学部長の選考の段階で学科長の検討も進められるのではと考えている、副本部長は資料では2月の中旬頃に選考と記載されているが、水面下で各学部長候補の皆様と調整を図っていきたいとの発言があった。

また、石堂副学長から、これまでも、副本部長の方が優先順位が高いということにはなかったと思う、学科長の選考方法は学部によって異なるため、なるべくバッティングしないよう調整したいと思っている、との発言があった。

また、委員から、学科長と副本部長は平行して選考されるが、基本的に学科長を副本部長に取られるということは無かったと思うし、今後もそうであると期待したいとの発言があった。

#### 報告事項（資料報告）

- (1) 令和3年度地域懇談会の開催結果について
- (2) 令和4年度地域協働研究の公募について
- (3) 令和3年度公的研究費の不正防止対策の実施状況について
- (4) 経営支援プラットフォーム「Big Advance」への本学の参加登録について
- (5) 「令和3年度第7回職員衛生委員会」の結果について

#### その他

委員から、来年度の認証評価に向けた体制の整備が着実に進んでいると感じた。認証評価を行いながら、中期目標達成の評価への活用も上手くできると、両方が良い方向に向かうと思うとの発言があった。